

コメント

1. 感染性胃腸炎

定点当たり8.46人と増加しており、4週続けて増加しています。これから年末にかけて増加が予想され、注意が必要です。安芸区では25.5人と特に多く安佐北区13.0人となっています。

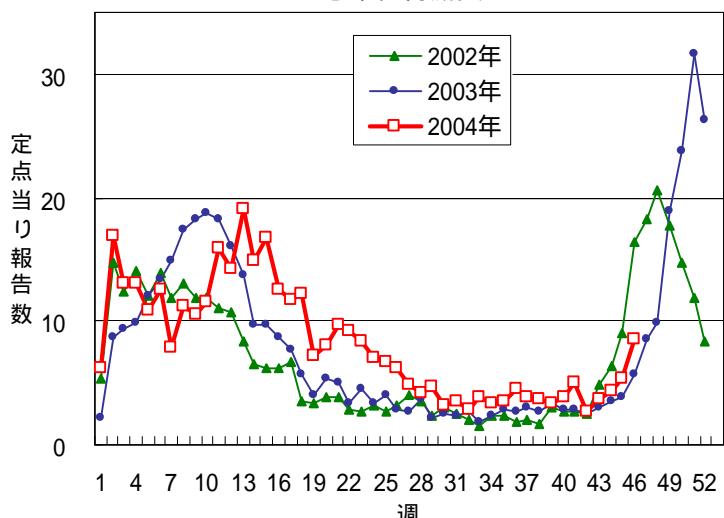
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり1.21人とやや増加しており、4週続けて増加しています。南区、佐伯区2.7人、東区2.0人となっています。

3. 水痘

定点当たり1.25人とやや増加しています。安芸区4.5人となっています。

感染性胃腸炎



5類感染症報告状況(定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当たり	平均過去4年間	発生記号	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去4年間	発生記号
インフルエンザ (注2)	-	-	0.02		麻しん(注3)	-	-	0.03	
咽頭結膜熱	3	0.13	0.07		流行性耳下腺炎	21	0.88	0.74	↑↓
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	29	1.21	1.31	↑↑	RSウイルス感染症	2	0.08	/	
感染性胃腸炎	203	8.46	7.44	↑↑	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
水痘	30	1.25	1.96	↑↑	流行性角結膜炎	8	1.00	1.38	
手足口病	4	0.17	0.45		細菌性髄膜炎	1	0.14	-	
伝染性紅斑	3	0.13	0.18		無菌性髄膜炎	-	-	0.04	
突発性発しん	12	0.50	0.92		マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.36	
百日咳	1	0.04	0.02		クラミジア肺炎 (注4)	-	-	-	
風しん	-	-	0.02		成人麻しん	-	-	-	
ヘルパンギーナ	-	-	0.19						

急増減	↑↓	↑↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↑↑	↓↓	前週と比較しておおむね1.1~2の増減
微増減	↑↑	↓↓	前週と比較しておおむね1.1~1.5の増減
横ばい	↔	↔	ほとんど増減なし

一時的な変動と考えられる場合は、前週との比較ではなく傾向を示しています。また報告数が少なく傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 37 (小児科定点含む)
小児科定点数 24
眼科定点数 8
性感染症定点数 9
基幹定点数 7

(注1)過去4年間の同時期平均(定点当たり)

(注2)高病原性鳥インフルエンザを除く

(注3)成人麻しんを除く

(注4)オウム病を除く

1類~5類感染症報告状況(全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	46	女性(10歳未満)・O26
5	後天性免疫不全症候群	1	17	男性(20歳代)

5類感染症報告状況の推移(定点把握対象分)

			インフルエンザ	A群溶血性咽頭炎	球菌性咽頭炎	群溶性胃腸炎	感染性水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	流行性耳下腺炎	RSV	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ	クラミジア肺炎	成人麻しん
報告数	広島市	第42週	-	6	10	66	17	1	1	14	2	-	3	-	9	-	-	6	-	-	3	-	-
		第43週	-	3	13	90	24	5	1	15	2	-	4	-	17	1	-	4	-	1	3	-	-
		第44週	-	2	15	104	16	3	1	23	-	-	2	-	23	-	-	5	-	-	-	-	-
		第45週	-	2	22	129	24	8	3	17	2	-	-	-	19	-	-	6	-	1	1	-	-
		第46週	-	3	29	203	30	4	3	12	1	-	-	-	21	2	-	8	1	-	2	-	-
定点当り	広島市	第42週	-	0.25	0.42	2.75	0.71	0.04	0.04	0.58	0.08	-	0.13	-	0.38	-	-	0.75	-	-	0.43	-	-
		第43週	-	0.13	0.54	3.75	1.00	0.21	0.04	0.63	0.08	-	0.17	-	0.71	0.04	-	0.50	-	0.14	0.43	-	-
		第44週	-	0.08	0.63	4.33	0.67	0.13	0.04	0.96	-	-	0.08	-	0.96	-	-	0.63	-	-	-	-	-
		第45週	-	0.08	0.92	5.38	1.00	0.33	0.13	0.71	0.08	-	-	-	0.79	-	-	0.75	-	0.14	0.14	-	-
		第46週	-	0.13	1.21	8.46	1.25	0.17	0.13	0.50	0.04	-	-	-	0.88	0.08	-	1.00	0.14	-	0.29	-	-
全国		第44週	0.02	0.12	0.87	3.02	0.70	0.98	0.12	0.69	0.01	0.01	0.12	-	0.91	0.01	0.65	0.02	0.04	0.26	0.01	-	-
		第45週	0.03	0.12	0.90	3.13	1.01	0.90	0.13	0.62	0.01	0.01	0.09	-	0.87	0.01	0.64	0.02	0.05	0.30	0.01	-	-

(注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

5類感染症報告状況の推移(STD(性感染症)・基幹定点月単位報告分)

			性器クラミジア感染症			性器ヘルペスウイルス感染症			尖圭コンジローマ			淋菌感染症			メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症			ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			薬剤耐性緑膿菌感染症		
			総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
報告数	広島市	9月	27	22	5	5	4	1	0	0	0	10	10	0	24	18	6	12	5	7	2	1	1
		10月	18	15	3	6	3	3	11	6	5	9	7	2	29	23	6	16	9	7	5	1	4
定点当り	広島市	9月	3.00	2.44	0.56	0.56	0.44	0.11	0.00	0.00	0.00	1.11	1.11	0.00	3.43	2.57	0.86	1.71	0.71	1.00	0.29	0.14	0.14
		10月	2.00	1.67	0.33	0.67	0.33	0.33	1.22	0.67	0.56	1.00	0.78	0.22	4.14	3.29	0.86	2.29	1.29	1.00	0.71	0.14	0.57
全国		10月	3.27	1.41	1.86	0.87	0.33	0.54	0.58	0.33	0.25	1.50	1.23	0.27	3.62	2.30	1.32	1.02	0.63	0.39	0.13	0.07	0.06

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	1	不明	2004/10/04	糞便	アデノウイルス3型
クループ	1	女	2004/09/27	咽頭拭い液	パラインフルエンザ2型
不明熱	0	男	2004/10/14	咽頭拭い液 髄液 粪便 尿	コクサッキーウィルスB4型

参考】今シーズンのインフルエンザ発生状況

10月8日、大阪府豊中市内の小学校でインフルエンザによる学級閉鎖が行われ、患者からA香港型(H3)インフルエンザウイルスが検出されました。そのほか、東京都、奈良県などでも、昨シーズンより早くA香港型インフルエンザウイルスが検出されています。

広島市では、まだ報告はありませんが、今後の発生動向に注意する必要があります。インフルエンザを予防するためには、流行前にワクチンを接種することが有効です。ワクチンによりインフルエンザにかかりにくくなるとともに、重症化することを防ぎます。

早めのワクチン接種でインフルエンザを防ぎましょう。

本週報は、インターネットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

なお、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じことがあります。

この情報の詳細に関するお問い合わせ先

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp